

5 バリュースセット株式会社
代表取締役 齊藤彰一

お世話になります。

私は福井県出身なのですが、高校を卒業してからは県外に出てしまいましたので、地元のほとんどの友人とは関係が疎遠となってしまっています。そんな私なのですが、ほぼ毎年のように交流している方が一人だけおります。高校の時の一学年上の卓球部の先輩です。

先輩は地元の大学を卒業後、県庁に勤めました。私は先輩のことを、40年以上経った今でも「先輩」と呼び、先輩は私のことを「しょういち」と下の名前で呼びます。10年位前に、私が小学生の卓球のコーチをやっていると先輩に打ち明けたところ、先輩も同様に地元の小学生の卓球のコーチをされており、互いに驚き合いました。早速2人で卓球対決をし、また、当時はそれぞれの息子が大学の卓球部でしたので、親子ダブルスの対決なども楽しみました。

毎回いつも決まった焼き鳥屋で楽しく会食しています。高校時代の思い出話や家族のこと、卓球教室の生意気な小学生のこと等々、たわいのない話も多いですが、楽しいです。

定期的にこのような先輩と意見交換ができるのは、FA（ファイナンシャルアドバイザー）の目線でも貴重なことだと思っています。金融業界が長くなると、必然的に知り合いも金融業界の人間ばかりとなります。そのような偏った人間関係の結果、一般常識から外れていってダメになったFAを、私はこれまでに多く見てきました。

高校時代の私を知り、金融業界ではない先輩と率直に意見交換をしていると、私はよく自分の偏った考え方に気づかされます。気づくたびに有難いことだと思っています。

そんな先輩だったのですが、今年、突然に地元の市長になられていて、私は仰天するほど驚きました。昨年会った時は何も聞いていませんでしたし、それ以上に失礼ながら、そのように偉くなるような方だとは思っていませんでした。

市長になられてからも、いつもの焼き鳥屋で会食をしていただきました。「成り行きで、推薦されて、、」とのことでしたが、様々なことに対してやる気に満ちているのもわかりました。先輩には市政を頑張っていたいただきたいと思います。

このような方と出会えていたことに感謝したいと思います。

今後とも5バリュースセットをよろしくお願い致します。

2026年5月20日